## [省令第8条の4の5(1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

<del>令和6</del>年6月30日

(宛先) 長野市長

荻原 健司

事業場の名称松代建設工業株式会社

④産業廃棄物の 一連の処理工程 提出者

住 所 長野市青木島1-2-1

氏 名 松代建設工業株式会社

代表取締役 湯本宜成

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-284-2318

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の所在は	也 長野市青木島 1 - 2 - 1
計	画期「	令和6年4月~令和7年3月
当詩	亥事業場において 	現に行っている事業に関する事項
	①事業の種類	<b>頁</b> 総合建設業
	②事業の規札	英元請完成工事高 2,414,644,000円 (前年度実績)
	③ 従 業 員 ¾	文 26人
		産業廃棄物の発生→収集運搬(自社・委託契約)→中間処理(委託契約)→再資源化・最終処分

### 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

①現状

社 長 - 電子マニフェスト管理者 - 事業部長 - 事業場管理者(現場)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】

▼110 1 /X (13 /140	「及)入順』					
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	繊維くず
排出量	175.60t	2, 323. 10t	171. 40t	146. 50t	4.80t	447.60t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管	ダンボール	石綿含有産業 廃棄物	蛍光灯	木くず	
排出量	6.94t	1.56t	1.89t	37. 00t	342. 56t	

(これまでに実施した取組) 廃棄物別コンテナの設置

## 【目標】

	21	出	量	
産業	き 廃	棄物	の種	ĺ
	排	出	量	

ガラス・コンク がれき類(コンク 廃プラスチック リート・陶磁器く リがら、廃アス (廃タイヤ、発泡 繊維くず 金属くず 紙くず 産業廃棄物の種類 150.00t 2,000.00t 150.00t 300.00t 5.00t 400.00t ダンボール 石綿含有産業 廃棄物 蛍光灯 木くず 建設混合廃棄 類 物(安定型、管 7.00t 1.00t 10.00t 200.00t 1.50t

(今後実施する予定の取組)

現場での廃棄物でリサイクル可能な建材の分別

# 産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物別コンテナの設置

①現状

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場発生の廃棄物でリサイクル可能な建材の分別

②計画

自ら行う産業	廃棄物の再生利用に関する事項						
	【前年度(令和 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った						
	産業廃棄物の量	建設混合廃棄	ダンボール	│ │ 石綿含有産業 │	蛍光灯	木くず	
	産業廃棄物の種類	物(安定型、管理	タンホール	石 柿 呂 有 産 来 廃棄物	<b>虽</b> 无闪	A\9	
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	佐						
	【目標】	<b>ボーフ ー</b> ン カ	北山 七年/一、 5	床ポニュイ…5	<b>△</b> □ /-*	νπ / <del>-</del> Ι <sup>Σ</sup>	6±647-1
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理	ダンボール	石綿含有産業 廃棄物	蛍光灯	木くず	
②計画	白と再供利用が行る立地成立と	初及足主、百生		光米初			
9 H M	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業	I 廃棄物の中間処理に関する事項						
	【前年度(令和 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	繊維くず
	自ら熱回収を行った						
	産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理	ダンボール	石綿含有産業 廃棄物	蛍光灯	木くず	
①現状	自ら熱回収を行った						
	産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した						
	産業廃棄物の量						
i	(これまでに実施した取組)						
	【目標】	ガラス・コンク	がわき類(コンク	廃プラスチック	金属くず	紙くず	繊維くず
	産業廃棄物の種類	リート・陶磁器く	リがら、廃アス	(廃タイヤ、発泡	<u>ш</u> /ы ч /	1126 ( )	1030 IVEL ( )
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する						
	産業廃棄物の量	建設混合廃棄	ダンボール	│ │ 石綿含有産業 │	蛍光灯	木くず	
	産業廃棄物の種類自ら熱回収を行う	物(安定型、管理		廃棄物			
②計画	産 業 廃 棄 物 の 量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)	1		1		1	1
. 1							

Ī		棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関す	りつ争垻					
		【前年度(令和 年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	繊維くず
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行 っ た 産 業 廃 棄 物 の 量						
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理	ダンボール	石綿含有産業廃 棄物	蛍光灯	木くず	
	①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量						
		(これまでに実施した取組)				I		
-								
		【目標】	ガラス・コンク	がれき類(コンク	廃プラスチック	金属くず	紙くず	繊維くず
		産業廃棄物の種類	リート・陶磁器く	リがら、廃アス	(廃タイヤ、発泡	3E 1/24 ( )	424 ( )	1981111 (7)
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量						
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物 (安定型、管理	ダンボール	石綿含有産業廃 棄物	蛍光灯	木くず	
	②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行 う 産 業 廃 乗 物 の 量						
		(今後実施する予定の取組)						
産業	美廃棄物の処 <b>3</b>	理の委託に関する事項						
	i	【前年度(令和 5年度)実績】		181 + ***/ \ h		△문 <i>/</i> 곽	41 / <del>1</del> 2	6±11 6/4 / _12*
		【前年度(令和 5年度)実績】 産業廃棄物の種類	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード含	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト レンガ	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール全	金属くず	紙くず	繊維くず
			リート・陶磁器く	リがら、廃アス	(廃タイヤ、発泡	金属 <b>くず</b> 146. 50t	紙 <b>くず</b> 4.80t	繊維< <b>ず</b> 447.60t
		産業廃棄物の種類	リート・陶磁器くず(石膏ボード含	リがら、廃アス ファルト レンガ	(廃タイヤ、発泡 スチロール会			
		産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	リート・陶磁器くず(石膏ボード含	リがら、廃アス ファルト レンガ 2,323.10t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会			
		産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	リート・陶磁器く ず(五章ボード会 175.60t	リがら、廃アス ファルト レンガ 2,323.10t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会	146. 50t		
		産業廃棄物の種類       全処理委託量       優良認定処理業者への量       処理 委託 量       再生利用業者にの量       双理 委託 量       正熱回収業者への	リート・陶磁器く ず(五章ボード会 175.60t	リがら、廃アス ファルト レンガ 2,323.10t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会	146. 50t		
		産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への量 処理を託量 再生利用業者への量 認定熱回収業者以外の熱回収を	リート・陶磁器く ず(五章ボード会 175.60t	リがら、廃アス ファルト レンガ 2, 323. 10t 2, 075. 36t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会	146. 50t		
	<ul><li>①現状</li></ul>	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者、の量 処理 委託 型 再生利用 業者託 への量 認定熱回収業者以外の熱回収を 設定熱回収業者以外の熱回収を 記定熱回収業者以外の熱回収を 記定熱回収業者以外の熱回収を	リート・陶磁器< ず(石意ボード会 175.60t 120.80t 建設混合廃棄物 (安定型、管理	リがら、廃アス ファルト レンガ 2, 323. 10t 2, 075. 36t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 171.40t	146. 50t	4. 80t	
	<ul><li>①現状</li></ul>	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者、 更理 業者 ( の量 ) 要	リート・陶磁器 < ず(石亭ボード会 175.60t 120.80t 220.80t 2	リがら、廃アス ファルト レンガ 2, 323. 10t 2, 075. 36t	(廃タイヤ、発泡 スギロール会 171. 40t 石綿含有産業廃棄物	146. 50t 146. 50t	4.80t *** **<す	
	<ul><li>①現状</li></ul>	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良理業者託への量 再処理業者託への量 再処理要託者託への量 の量型を要素を要素を要素を要素を要素を要素を要素を要素を要素を要素を要素を要素を要素を	リート・陶磁器 < ず(石亭ボード会 175.60t 120.80t 220.80t 2	リがら、廃アス ファルト レンガ 2, 323. 10t 2, 075. 36t	(廃タイヤ、発泡 スギロール会 171. 40t 石綿含有産業廃棄物	146. 50t 146. 50t	4.80t *** **<す	
	<ul><li>①現状</li></ul>	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優処理委託者託へ量の量の量を関処を理解者の動物を対象を関して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対	リート・陶磁器 < ず(石亭ボード会 175.60t 120.80t 220.80t 2	リがら、廃アス ファルト レンガ 2,323.10t 2,075.36t ダンボール 1.56t	(廃タイヤ、発泡 スギロール会 171. 40t 石綿含有産業廃棄物	146. 50t 146. 50t	4.80t *** **<す	
	①現 <b>状</b>	産業廃棄物の種類 全処理委託量 と処理要託者託 者託	リート・陶磁器 < ず(石亭ボード会 175.60t 120.80t 220.80t 2	リがら、廃アス ファルト レンガ 2,323.10t 2,075.36t ダンボール 1.56t	(廃タイヤ、発泡 スギロール会 171. 40t 石綿含有産業廃棄物	146. 50t 146. 50t	4.80t *** **<す	
	①現状	産業 廃棄 物の種類 全処理 委託 量 を主要 理要 業 者託 名託 者託 者託 者託 者託 者託 者託 母型 収委 以外理 理型 型型 変 以外理 者 の量 の量 の量を主要 変 変 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	リート・陶磁器 < ず(石亭ボード会 175.60t 120.80t 220.80t 220.80t 第2 220.80t 220.80	リがら、廃アス ファルト レンガ 2,323.10t 2,075.36t ダンボール 1.56t	(廃タイヤ、発泡 スギロール会 171. 40t 石綿含有産業廃棄物	146. 50t 146. 50t	4.80t *** **<す	
	①現 <b>状</b>	産業 廃棄物の種類 全処理委託量 を主要を要して、	リート・陶磁器 < ず(石亭ボード会 175.60t 120.80t 220.80t 220.80t 第2 220.80t 220.80	リがら、廃アス ファルト レンガ 2,323.10t 2,075.36t ダンボール 1.56t	(廃タイヤ、発泡 スギロール会 171. 40t 石綿含有産業廃棄物	146. 50t 146. 50t	4.80t *** **<す	

***********************************		• • •		ステロールコ			
再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量  産業廃棄物の種類 を改定型、管理型 を処理委託量  を処理委託量  「本代す」 を処理委託量  「表別のののである。 「、 ののでは、 ののでは	優良認定処理業者への処理委託量		2, 000. 00t	150.00t	300.00t	5.00t	400.00
認定熱回収業者への処理委託量  認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量  産業廃棄物の種類 (受定型、管理型)  全処理委託量  不ののである。 (では、) (では							
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量 産業廃棄物の種類 物安定型。管理型) 全処理委託量 7.00t 1.50t 1.00t 10.00t 200.00t  優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 おん 処理委託量 おん 処理委託 量 おん 処理 委託 量 おん 処理 委託 量 おん 処理 委託 量 おん 処理 委託 量 おん の の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対	再生利用業者への処理委託量						
(②計画) (子) 業者へ処理委託量 (産業廃棄物の種類 (建設混合廃棄物(安定型、管理型)) (基準を乗物の種類 (東東物) (安定型、管理型) (主要である) (表現でのの) (表現での) (表現で)	認定熱回収業者への処理委託量						
産業廃棄物の種類     物(安定型、管理型)       全処理委託量     7.00t     1.50t     1.00t     10.00t     200.00t       優良認定処理業者への処理委託量       再生利用業者への処理委託量       認定熱回収業者への処理委託量       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
②計画 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量	産業廃棄物の種類	物(安定型、管	ダンボール		蛍光灯	木くず	
②計画  再生利用業者への処理委託量  認定熱回収業者への処理委託量  認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量	全処理委託量	7. 00t	1.50t	1. 00t	10.00t	200.00t	
再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行 う 業 者 へ 処 理 委 託 量	再生利用業者への処理委託量						
行う業者へ処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量						
(今後実施する予定の取組)							
	(今後実施する予定の取組)						
		認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物(安定型、管理型) 全処理委託量 そ処理委託量 再生利用業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物(安定型、管理型) 全処理委託量 そ処理委託量 不.00t 1.50t 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量 産業廃棄物の種類 全処理委託量 イ.00t 1.50t 1.00t 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物(安定型、管理型) 全処理委託量 そ処理委託量 不、ののは 1.50t 1.00t 10.00t 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量   認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量   産業廃棄物の種類   複設混合廃棄   ダンボール

※事務処理欄

### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応 じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。 また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書(産業廃棄物の実績及び計画の量)

							産業		物の利	_	₹績値∙計	画値)			
		処理	事項	ガラス・ コンク リート・ 陶磁哭 /	がれき類 (コンクリ がら、廃 マスファ	廃プラス チック(廃 タイヤ、 発気スチ	金属くず	紙くず	繊維くず	建設混合 廃棄物(安定型、管理刑)	ダンボー ル	石綿含有 産業廃棄 物	蛍光灯	木くず	合 計
+ <b>4</b> E ↓↓↓	+rn#11-	- 関する事項	前年度排出量(実績)	175. 60t	2, 323. 10t			4. 80t	447. 60t	6. 94t	1. 56t	1. 89t	37. 00t	342. 56t	3, 658. 95t
孙山	14h uhil 1 <	- 因りの争項	本年度排出量(計画)	150.00t	2, 000. 00t	150.00t	300.00t	5. 00t	400.00t	7. 00t	1.50t	1. 00t	10.00t	200. 00t	3, 224. 50t
自ら	行う( <sup>;</sup>	行った)	前年度実績												
再生	利用に	-関する事項	本年度計画(目標)												
自ら	行う	自ら行 <b>う</b> (行った)	前年度実績												
(行っ	った)	熱回収の量	本年度計画(目標)												
に関	司処理 自ら中間処理 により減量	自ら中間処理	前年度実績												
事項		する(した)量	本年度計画(目標)												
	行う(行った)埋 なは海洋投入処		前年度実績												
	スは海する事		本年度計画(目標)												
	<b>全</b> 処理委託量	<b>禾</b>	前年度実績	175. 60t	2, 323. 10t	171. 40t	146. 50t	4. 80t	447. 60t	6. 94t	1. 56t	1.89t	37. 00t	342. 56t	3, 658. 95t
処			本年度計画(目標)	150.00t	2, 000. 00t	150.00t	300.00t	5. 00t	400.00t	7. 00t	1. 50t	1. 00t	10.00t	200. 00t	3, 224. 50t
理	優良	認定処理業者	前年度実績												
の   委	<b>への</b> り	処理委託量	本年度計画(目標)												
託	再生利用業者	前年度実績	120. 80t	2, 075. 36t		146. 50t				1. 56t				2, 344. 22t	
関	<b>への</b> り	処理委託量	本年度計画(目標)												
の委託に関する事	認定熱	————— 熱回収業者	前年度実績												
事		処理委託量	本年度計画(目標)												
項		製団収業者以外	前年度実績												
		回収を行う業者 処理委託量	本年度計画(目標)												

#### 【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を 記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。